

たたかえ! ヒガシヤマン

round17

©大畠栄里



必殺!! 男爵!!

ヒガシヤマンの返し技

【必殺!! 男爵!!】

なんと、春先からいきなりグンバツのカワイイちゃんが枕を持ってご登場である。しかもここはヒガシヤマンのアパートの前だ。(いきなり枕は、まずいよナ。)彼は、その外国語を話す謎の少女に少し待つように伝えると、一旦部屋に戻りドレスアップして再び登場した。「まずはお友達から…ってことで、いいかな?」ヒガシヤマンはそう言うと、手始めに少女を行きつけのうどん屋に招待した。少女は必死で何かを彼に伝えたがっているようだったが、なにぶん外国語なので何を言っているのかわからない。それでも、彼にとって少女との時間は至福のひとときであった。

【必殺技】

春眠ちゃんに枕元に立たれると世にも妙なる香のかおりがたちこめ、二胡や琴の癒しメロディが流れ、お部屋の風水的パワーもこの上なく上昇、心身共に安眠できる! が、しかし、安眠しすぎて起きられません(° ω °)

【考案者】 koko

大学生から仕舞と太鼓のお稽古を始めたほか、去年からは「表現活動へのお誘い～からだではなそう～」のボランティアスタッフを続けています。

東山青少年活動センターにひそかに存在するキャラクター・ヒガシヤマン。彼は猛勉強中だ!! 「うーん、彼女がどうも中国語を喋ってるらしいってことはわかったんだけどさ、なにせまだ聞き取れなくて。でも、毎日家に来てくれるんだぜ。まいったな(笑)」二人の意思疎通がなされたとき、彼の心はどこへ行くのか。がんばれ、ヒガシヤマン!!

文:筒井加寿子

ヒガシ ガシ

VOL.
17 ヒガシ
2008 SPRING

もくじ

- 01**・たたかえ!ヒガシヤマン
- 02**・もくじ
- 03**・Higashiyama Youth
- 05**・ステージサポートプラン
ボランティア募集
- 07**・【特集】東山再発見
- 11**・東山schedule
- 13**・ワークショップななめ読み
- 14**・ヒガシヤマQ&A

空腹を充たすために食べるスナック菓子のように、
東山の情報もかじってほしい。
ヒガシ(干菓子)のイメージからくる季節感や彩りも
添えて。ヒガシガシは、そんな情報誌です。



イラスト
紙本明子【俳優 所属劇団衛星】
劇団衛星HP <http://www.eisei.info/>
ユニット美人
HP <http://www.eisei.info/unitB/>

Higashiyama Youth

東山センターを利用している青少年にインタビュー

今回お話を伺ったのは、センターの創造活動室を使って先日公演をされた、「上品芸術演劇団」の押谷裕子さんと脇野裕美子さんです。

伊丹アイホール演劇ファクトリー9期生として出会った上杉晴香さん、押谷裕子さん、清良砂霧さん、脇野裕美子さんと、チーフティレクターを務めた鈴江俊郎さん(劇作家、演出家)の5名で活動する演劇ユニットです。

——劇団名の由来は?

押谷:皆で色々持ち寄った結果それにならんんです。でも、名前のまま「上品」「芸術」の演劇を目指すのではなく、「上品」の持つイメージ、例えば綺麗、お洒落とかいうものを気にしない、真剣なやる気をもった集団。演劇でなくちゃいけないとか、演劇は生涯やるべきとか言うと大袈裟ですけど、それぐらいの意気込みでやらせてもらっているので、この名前は少し皮肉めいてつけた名前ですね。ほんとに上品にやろうとしたらこんな名前付けないよね、と。

——活動を始めたきっかけはなんですか?

脇野:私たちは伊丹アイホール演劇ファクトリーの最後の卒業生だったんです。1回きりの公演が終わった時に、一緒に演劇をやった仲間の中で何かやりたい、演劇を続けていきたいという気持ちを持った人たちで結成しました。

——劇団のコンセプトは?

押谷:「良いものを、ちゃんとしっかりと真剣に作り上げようぜ!!」というのがコンセプトですね。自分たちが作りたいもの、良いものをコツコツ地道に作り、

積み上げて、観に来て下さる方に喜んでもらえるように努力しています。

——演劇作品の内容も自分たちで考えているのですか?

押谷:はい、劇団員皆で関わってつくります。それぞれがどういう風なお芝居をしたいのか事前にミーティングで話し合い、それについて勉強し合いながら作っています。その作業と同時に台本を書いてくれる人がいるといったスタイルです。

脇野:台本は基本的に書きたい人が最初に手を挙げる仕組みになっていて、今作っている作品は押谷が考えています。

——台本を書く上で大変なことは?

押谷:自分の書きたい事が面白い形として皆に伝わって、それが浸透していくといいのですが、書きたいものと面白いものは違うじゃないですか。私が書くのは今回が初めてで、技術や経験が足りないからか、その辺りが難しいというか、厳しいというか…。今が山場ですね。

——内容を悲劇や喜劇にしようなどと決めてから作り始めるのですか?

押谷:私はそういう風に意図を持って作り始めることはないですね。言いたい事とか、必要な事、皆に知りたい事など、自分が書きたい事を書いていった結果が悲劇や喜劇になるかもしれません。

——東山青少年活動センターの使い心地はどうですか?

脇野:京都市内で使用料無料という好条件で使わせていただける所なんてほとんどないので、そういう意味ではとってもありがとうございます。広さも稽古するにはとてもいい条件が揃っているうえに、立地条件の面からみてありがたい使い心地です。



——今後の活動予定は？

押谷：来年の2月くらいに公演をしようということは決まっています。しばらくは上品芸術演劇団としての活動はないので個々での活動になりますね。

——自分にとって演劇とは何ですか？

押谷：生活の中に占める演劇活動の時間数は少ないかもしれないけど、自分自身を支える、その他の活動を支えてくれるくらいのものですね。日常生活では味わえない時間や感覚を、作る側として味わうこと。社会に出て、何かみんなでものを作るという経験が得がたい中、そういうのって、きっと自分には必要なんだろうなって思うんです。

脇野：演劇活動の時間は自分にとってとても豊かな時間だと思います。受け身じゃ創造的なものは出来ません。自発的に動くということは、凄く頭も使いますし、気持ちも使います。それは私にとってとても豊かな時間で、押谷と同じで劇団の活動があるからこそ、それ以外の時間もまた満たされる。そういうものですね。

——貴重なお時間を割いていただきありがとうございました。



取材：松崎美里・牛山瑞恵・村井亜也子
(京都橘大学文化政策学部2回生)

「ヒガシガシ」デザイン・編集 ボランティアスタッフ募集！

この情報誌と一緒に創りませんか？ 東山青少年活動センターが季刊紙として発行しているフリーペーパーです。毎号2,000部発行しており、京都の大学や市内7ヶ所の青少年活動センター、カフェ、ギャラリーなどに設置し、若者への情報発信を行っています。

活動内容

◎特集やHigashiyama Youthの取材・原稿作成 ◎全ページのデザイン・校正作業

◎製本・発送作業など 活動日は内容によって変わります。直接お問合せください。

何か新しいことを始めてみたいと思っている方、イラストを描くのが好きな方、地域に出てものづくりの活動をされている方と出会いたい方、編集・デザインに興味のある方…経験はなくても大丈夫です。
やってみたいと思ったらぜひ東山青少年活動センターまでお問合せください。





STAGE SUPPORT PLAN

ステージサポートプラン

4月～6月

応募
方法

■ 剧団ルーキープレイ(剧団ショウダウン番外公演) 「アンダーワールド」

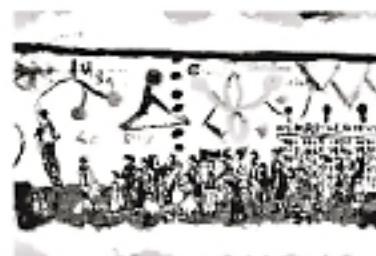
見覚えのない場所で目覚めた4人の男女。
彼らはやがて、探索をはじめる。
あまりにも希薄な現実感にとまどう4人。
これは現実なのか、それとも…
ゲームの世界なのか?

4/18 (金) 19:00
4/19 (土) 14:00/18:00

[前売・当日共] 1,000円

○お問合せ

<http://www.showdown.biz>(剧団web)
gekidanshowdown@yahoo.co.jp



■ 京都ロマンポップ 「ドイツ! ドイツ! ドイツ!」

1989年、東西に「分裂」していたドイツが一つになる。
考え方! 考えろ! 考えろ! 「分裂」を。ちゃんと
していない人と、ちゃんとしたい人に贈る、
ドイツという物語。

5/16 (金) 13:00/18:00

5/17 (土) 13:00/18:00

5/18 (日) 13:00

[前売] 1,000円 [当日] 1,200円
学生 500円(高校生以下、要証明)

○お問合せ… 080-1921-6651

<http://roman-pop20.hp.infoseek.co.jp>

東山青少年活動センターが自主公演の支援をします。初心者から経験者まで、色々な人たちに東山にある創造活動室を利用して欲しい。だから次のようなグループの公演を応援しようと思いました。

- ① First Trial (活動経験の浅い人たち)
- ② チャレンジ! (何か新しいことに挑戦しようという人たち)
- ③ 東山のおススメ! (京都でがんばって活動している人たち)

★詳しいことのお問い合わせは→東山青少年活動センターへ

HPでも
ご覧頂けます。

<http://www.ys-kyoto.org/higashiyama>



■イッパイアンテナ
「ガセネタボーアイズ!」
7年ぶりの僕らの学び舎
ガセネタだらけのゲリラ新聞
気になるあの娘の背中すら
ピンぼけ写真のダメっぷり
色あせた夏を取り戻せ
やってきましたガセネタボーアイズ

6/27(金) 18:00
6/28(土) 14:00/18:00
6/29(日) 13:00

[前売] 800円 [当日] 1,000円

○お問い合わせ… 080-6806-5053(制作)
090-9615-3414(代表)

※すべての演劇公演の開場は開演時間の30分前です。

東山青少年活動センターでボランティア活動してみませんか

*「創活番ボランティア」

「創活番」とは東山青少年活動センターで行なう演劇やダンスなどの発表・公演(ステージサポートプラン)のお手伝いをするボランティアチームです。
何か新しいことを始めてみたいと思っている方、舞台づくりに関心のある方を
求めています。

*「東山アートスペース ボランティア」

活動日は毎月第1・3日曜日 11:00～17:30

東山アートスペースは、13歳～30歳の知的な障がいのある人たちの
余暇充実を目的としたアトリエ活動です。
ボランティアスタッフのみなさんは障がいのあるメンバーをサポート
しながら、作品づくりと一緒に楽しんでください。
センターの趣旨を理解し、アトリエ活動と一緒に楽しんでくださる方
を求めています。



活動の様子



● ボランティア活動が初めての方も、経験がある方も、新たな分野でのボランティア活動
を始めてみませんか?

いずれのボランティア活動も対象は18歳から30歳までの方です。

何かしたいけど、どんな活動がいいのかわからない・迷っているという方も
お気軽にお問い合わせください。

東山再発見

特集

レトロで、生活感あふれる古川町商店街のアーケードを横道に入ったところにある、喫茶「六花」。ドア、テーブル、壁とナチュラルカラーでまとめられた、落ち着きのある雰囲気の店内に足を踏み入れ、シックで深みのある青いピロードの椅子に掛ければ、目の前に広がる大きな絵の数々。

今回取材させていただいたのは、喫茶「六花」で素敵な絵画や作品を飾っておられる、絵描きのムラカミ イズミさん(27)です。



●—絵を描きはじめたのは、どんなきっかけだったんですか？

ムラカミ 絵を描くのは幼稚園の頃からずっと好きでしたね。幼稚園の中で絵を描いてる様子や、園がお休みの日に家で絵を描いてたこととかも、よく覚えてます。昔から何も考えずに絵は好きでした。だから、進路を決める時も特にきっかけらしいものはなかったですね。進路は芸術系大学に進学する以外想像できなかったんです。「選んだ」っていうより「それしかなかった」っていう感じなんですよ。(笑) 絵を描くっていうことしか、やりたいことがないので。

●—店内の内装はお友達の方が手がけてらっしゃるんですか？

ムラカミ 店内の内装は私の友達ではなくて、姉の友達がやってくれました。

●—絵以外でこのお店に関わることはありますか？

ムラカミ メニューをいちから考えたりとか、そういうことはないですね。あ、でもたまにクッキーを作つて、勝手にお店に置いたりします。(笑)

●—表の看板はイズミさんが描かれたんですか？

ムラカミ 看板の絵は私がデザインしました。看板自体は知り合いが私の描いた絵を見ながら作ってくれたんです。あとは、メニュー帳やショップカードも私がデザインして作っています。

●—店内に飾られている作品は定期的に変えてらっしゃるんですか？

ムラカミ うーん…定期的っていうよりは、気が向いたら変えるって感じですね。

●—絵画以外には、どんな作品があるんですか？

ムラカミ 絵以外は…ハンコとか、ポストカード、ライター…あとはレターセットとかですね。そういうものを手づくり市で商品として販売しています。

●—手づくり市にはいつ出店されてるんですか？

ムラカミ 手づくり市はできる限り毎月出店するようにはします。ただ、出店ブースが抽選で決まるので、残念ながら出店できない月もあります。

●—作品のモチーフで多いのは何ですか？

ムラカミ モチーフは…ヒト。女人が多いですね。人が出てこない絵はほとんどないです。大体、私の絵には女人が出てきます。特に意識せず、本当に感覚で描いてるって感じなのですが。

●—以前、ムラカミさんの作品を拝見させていただいたことがあるのですが、その時の絵と今回店内に飾られている絵とは印象が違うのですが…。

ムラカミ そうですね。2年くらい前に描いた絵は黒い色の絵が多くたんです。（店内の絵を見ながら）これは…去年くらいに描いた絵かな。この頃からやわらかい色使いというか、パステルカラーの絵が増えてきましたね。



●—ショーケース横の棚に置いてあるマッチやライターなどもムラカミさんの作品ですか？

ムラカミ はい、そうです。上段に置いてあるのが六花のマッチで、下の段に置いてあるのが手づくり市でも売っているライターやポストカードなどです。



●—大きな絵は年に何枚くらい描かれるんですか？

ムラカミ 製作期間は短いですよ。最近、年に1回程度、ここ以外の喫茶店で作品を飾らせてもらう機会があるので、その期間だけは集中して絵を描いてます。製作期間は大体、展覧会が決まってその2ヶ月前とか、短い期間です。今お店に飾っているような大きな絵は滅多に描かないから、「絵描きか」って言われると自分でも「どうなんだろう…」と思うことはありますけど…でも、「絵描き」です。「絵描き」になりたいです。

●—絵はどこで描いているんですか？

ムラカミ 自宅で描いてます。今は一人暮らしなんですけど、実家にいた時も絵は家で描いてました。意外と大きな絵でも家で描けるものですよ。描いてる最中は、部屋の中がぐちゃぐちゃになりますけど。(笑)

●—店内に作品を飾っていて、譲ってほしいと言われたことは？

ムラカミ すごく稀ですけどあります。そういうことは、年に一度あるかないかですけど。

●—ここではイズミさん以外のアーティストを対象にしたギャラリー的なことはされてないんですか？

ムラカミ たぶん、そういうことはしてないですね。今までに描いた私の絵が家にいっぱいあるので、次から次へ絵を出してきては飾って…って感じで。(笑)

●——今の生活パターンはどんな感じですか？

ムラカミ 週1回ここに来て、あとはアルバイトをしています。それ以外の時間は手づくり市で出品するハンコをひたすら作っているので、ずっと内職している感じですね。(笑)

●——絵描きをやっていてよかったなと思うことはありますか？

ムラカミ 展覧会のときに必ず感想帳を置いておくんですけど、それを読むときがすごく嬉しいです。観に来てくれた方、いろんなことを書いてくれるんですけど、結構いいことを書いてくれる人もいるので、それがすごく嬉しいかな。あと、手づくり市も嬉しいことが多いですね。お客様が自分の作品を気に入って買ってくれるところが直接見られるし、それが楽しいです。

●——逆に、もう絵描きなんてやめたい！ と思うことはありますか？

ムラカミ いや～…今の私、全然絵描きらしくないですからね。本当は今よりもっと絵も描かなくちゃいけないと思っていますし、もっと絵描きらしくなりたいと思ってるんです。でも、絵だけで生活していくのはすごく大変なので…困ります。(笑)

●——今後も今のような感じで活動されていく予定ですか？

ムラカミ 左京区に「きさら堂」というカフェがあるんですけど、年に1回程度、そこで展覧会をさせてもらうくらいしか今は活動していないんです。本當はもっと絵を描く機会を増やしたいんですけどね。

●——絵を教える立場になられたことはあるんですか？

ムラカミ 先生とか、緊張で固まってしまいそうです。(笑)今までに誰かに絵を教えたことはないですね。学生の時に、小学校の養護学級のボランティアスタッフはしたことありますけど、そのときも絵を教えるということはしなかったですから。

●——ボランティアですか。

ムラカミ 大学の時に少しまとまった時間ができた時があったので、その時にボランティアでもしてみようかなと思ったんです。私、子どもの絵とかを観るのが好きで。そしたら、ちょうど大学でボランティア募集の張り紙がしてあったので、ボランティアで子どもたちのお世話をしに行ってましたね。障がいのある子たちなので、お世話っていうより、近くにいて、見ててあげるだけだったんですけど、面白い作品がどんどん出てきて、すごく楽しかったのを覚えてます。



●——作品を描ける時期や描けない時期ってありますか？

ムラカミ どうでしょう…。普段から定期的に大きい絵を描いてないから描ける・描けないというのが、最近、自分でもよくわからなくなってるんです。

展覧会が決まってから絵を描き始めることが多いから、久しぶりに描き始める最初の絵は、やっぱりなかなか描けないです。でも、書き出すとだんだん描きやすくなって、楽しくなってくるんですけどね。

●——季節を意識した絵とかは描かないんですか？
ムラカミ 季節感が出る絵もありますけど、意識して描いてるっていうわけではないですね。あ、でも私、春がすごく好きなんですよ。

●——春のどういう感じが好きなんですか？

ムラカミ 春ってなんだかきらきらしてるでしょ？ 春になると、新しい芽や緑が出てきてるからそういうふうに感じるのかなと思うんですけど。だから、毎年春になるとすごく嬉しくなって、毎日機嫌がいいんです。冬は寒くて嫌いだから、家にこもりがちになってしまふんですけど。(笑)



●——ムラカミさんにとって、絵を描くということはなんでしょうか？

ムラカミ うーん…うまく言えないんですけど、自分を出してるっていう感じ。普段、いっぱい自分のことを誰かに話すっていうことがないですから。多くの人が口に出してしゃべることを私はあまりしゃべらないので、その分、自分の中に溜まってるものを、絵を描くことによって出してるっていう感じがします。だから、絵を描くとすごい怖い絵になったり、気分がいい時に描いた絵はすごくきらきらした絵になったり、その時の感情や思いなんかが自然と出てしまっている感じがします。私にとって絵を描くっていうことは、自分の中にあるなにかを吐き出してるという感じがしています。女の人の絵を描くのが多いかも、と言ってましたけど、そういう意味では自画像を描いているのかもしれませんね。

●——ものづくりに興味を持っていたり、これからはじめようと考えている人に対して一言お願いします。
ムラカミ 皆さん、好きなことをすればいいんじゃないかな。何とかなりますよ。私もドーンと大きく活動できているわけではないですが、小さく地味に(笑)、なんとかなってますから。

●——ありがとうございました。

ムラカミイズミさんの作品がみられます！

「ムラカミイズミ 絵画展」

～日記を書くみたいな感じで描きました～

日時：6月19日(木)～7月3日(木)

センター開館時間

最終日18時まで

場所：東山青少年活動センター ロビー

喫茶 六花

住所：京都市東山区白川筋三条下ル3丁目

唐戸鼻町562-1

open 9:00～18:00 (日・祝は11:00～18:00)

毎週水曜日、第2・4火曜日は定休

電話・FAX 075-541-3631

●取材 犬島麻梨子(京都橘大学文化政策学部3回生)
森本静香(京都橘大学文化政策学部2回生)

東山schedule 2008

① 「ピンホールカメラで遊ぼう」展

| | 4月 | 5月 | 6月 | |
|----|----|-----|----|-----|
| 1 | 火 | 木 | 日 | |
| 2 | 水 | 金 | 月 | ② |
| 3 | 木 | 土 | 火 | |
| 4 | 金 | 日 | 水 | |
| 5 | 土 | 月 | 木 | ② |
| 6 | 日 | 火 | 金 | |
| 7 | 月 | 水 | 土 | |
| 8 | 火 | 木 | 日 | |
| 9 | 水 | 金 | 月 | ② |
| 10 | 木 | 土 | 火 | |
| 11 | 金 | 日 | 水 | |
| 12 | 土 | 月 | 木 | ② |
| 13 | 日 | ① 火 | 金 | |
| 14 | 月 | 水 | 土 | ④ |
| 15 | 火 | 木 | 日 | ③ |
| 16 | 水 | 金 | 月 | ② |
| 17 | 木 | 土 | 火 | |
| 18 | 金 | 日 | 水 | |
| 19 | 土 | 月 | 木 | ② ⑤ |
| 20 | 日 | 火 | 金 | |
| 21 | 月 | 水 | 土 | |
| 22 | 火 | 木 | 日 | ② |
| 23 | 水 | 金 | 月 | ② |
| 24 | 木 | 土 | 火 | |
| 25 | 金 | 日 | 水 | |
| 26 | 土 | 月 | 木 | ② |
| 27 | 日 | ① 火 | 金 | |
| 28 | 月 | 水 | 土 | |
| 29 | 火 | 木 | 日 | ② |
| 30 | 水 | 金 | 月 | ② |
| 31 | | 土 | | |

■は休館日です

ピンホールカメラとは、レンズを使わず、針穴から入ってくる光を撮るカメラです。空き箱を使って世界にひとつのカメラをつくり撮影しました。のんびりとした時間を感じる不思議で静かな写真を飾ります。ぜひみにきてください。

会期: 4月13日(日)~4月27日(日)
センター開館時間内(最終日17時まで)
会場: 京都市東山青少年活動センターロビー

② 演劇ピギナーズユニット2008参加者募集

参加したみなさんが一つの舞台を作ります。
一度舞台に立ってみたかった方、演劇に興味はあったけど、触れる機会
がなかった方。新しく何かをはじめたい方、新しく何かをつかみたい方。
ここに、あたらしい舞台があります、楽しむために来てください!

講座日程: 5月22日(木)~9月4日(木)全33回
毎週月・木曜日18:00~21:00 * 7月21日(祝)は15:00~18:00
(講座日程以外に自主練習をする可能性があります)
*説明会／5月15日(木) 19:00~20:30
*公演日／8月30日(土)・31日(日)
*公演準備日／8月29日(金)

募集期間: 4月5日(土)~5月9日(金)
参加対象: 京都市に在住か在学・在勤の中学生から30歳までのの方で、
演劇初心者の方、またはそれに準ずると思われる方。

募集定員: 17名 (応募多数の場合は抽選、定員に満たなかった場合は、
5月9日以降も先着順で受付けます)

参加費: 30,000円(全33回の講座費用・公演費用一切込)
演出: あごうさとし(WANDERING PARTY/劇作家、演出家)
申込み: 京都市東山青少年活動センターへ直接来館、または
電話・E-mailにて受け付けます。

公演会場: 京都市東山青少年活動センター創造活動室
共催: NPO法人 京都舞台芸術協会

③ 東山アートスペース 2007年度参加者作品展

知的な障がいのある中学生から30歳までの青少年が
昨年11月から今年の3月までに制作した数々の作品
をロビー空間に展示しています。
ぜひ、見に来てください!

会期: 5月10日(土)~6月15日(日)
センター開館時間内(最終日18時まで)
会場: 京都市東山青少年活動センターロビー



④ 中劇研「春の合同公演」

中劇研(京都市中学校教育研究会演劇部会)は、
京都市内の公立・私立中学校演劇部の集まりです。
日頃の活動の成果を発表します。
この催しは、「学校と青少年施設の連携」事業と
して、創活番(青少年ボランティア)の協力で実施
しています。

日時: 6月14日(土)予定



⑤ ムラカミイズミ 絵画展 ～日記を書くように描きました～

会期: 6月19日(木)~7月3日(木)
センター開館時間内(最終日18時まで)
会場: 京都市東山青少年活動センターロビー

ムラカミイズミさんについては、
特集 東山再発見(P7)にて詳しく取材した
記事が掲載しておりますので、そちらを
ご覧ください。



【①③④⑤の事業について】
対象: どなたでもご来場ください。

【②の事業について】
対象: 京都市に在住もしくは在学・在勤
されている13歳から30歳までの方
申込み・問合せ: 東山青少年活動センターへ
4月5日(土)~5月9日(金)の間、直接来館、
または電話・E-mailにて受付。
応募多数の場合は抽選、定員に満たなか
った場合は、〆切日以降も受け付けます。

☆いずれの事業も会場は東山青少年活動センター
です。

work shop

若年者キャリア形成支援事業

“技”と“心”を伝える仕事

伝統産業やものづくりの仕事に興味のある青少年を対象に、伝統産業界で活躍する若い職人たちの仕事について前半は少しだけ体験、後半には座談会を開き、仕事に対する姿勢や生き方のヒントを探っていました。



[開催日時] Vol.1…2008年2月2日(土)
Vol.2…2008年2月24日(日)
いずれも 13:00～17:00

[参加者] Vol.1…8名, Vol.2…10名

[参加費] 無料

[コーディネーター]

滋野 浩毅さん(京都ものづくり塾代表)

[ナビゲーター]

Vol.1 細川秀章さん(竹工芸・町家工房「いぶき」)

鈴川剛司さん(京和傘・株式会社 日吉屋)

Vol.2 高橋博樹さん(木工芸・木工房きごろ代表)

河野嘉宏さん(陶芸)

●しごと体験の満足度は?

- (とても満足10・満足7・どちらとも言えない1)
・作業の一部でしたが少し職人気分になりました。
・ち密な作業だったのでとても集中できました。
・ほんの一部分を体験させていただきながら
ですが、難しくて楽しかったです。
・全然日本の昔のものづくりを知らなかった
ことに気づきました。



●座談会の満足度は?

- (とても満足14・満足3・どちらとも言えない1)
・なかなか聞けない職人のふところ具合(?)というか、
生き様みたいなことが聞けて、自分もがんばろうと思いました。
・普段接することのない人の話や伝産の現況が伺えて新鮮でした。
職人の方の熱さ、奥深さ、しんの強さが伝わってきました。
・質疑応答でストレートに「職人にとっての仕事の姿勢」という声を
聞けたので良かったです。

●プログラム全体の感想をお聞かせ下さい。

- ・伝統工芸や仕事についての考えが少しまとまった気がしました。
・お話を聞くだけでなく、実際に道具を使って作ることが出来て充実し
たし、職人の気持ちなども聞くことが出来てよかったです。
・もっとイカつい職人さんがくると思って参加口を悩んでいたけど、ここ
に来て職人さんやものづくりのイメージが明るいものになりました。
・これから働くうえで、どのようなことを大事にしていけばいいかなど
仕事に対する姿勢がとても参考になりました。
・道具を使って何か作るのがやっぱり好きだということが分かって良か
ったです。
・今、自分が就職活動をしようという状況にあり将来のことについて
色々と考えさせてもらいました。

☆コーディネーターのコメント ☆

若い人たちの「ものづくりの仕事」への関心は相変わらず高い。その理由に、「仕事の“感触”がリアルに伝わる」ことがあると考
えている。今回のナビゲーターは皆、最初の職場で感じた「違
和感」や「抑えがたい気持ち」が「ものづくりの仕事」へと向か
わせた。参加者の皆さんが、そんなナビゲーターたちの仕事
に向き合う姿勢や、実際にものづくり体験をしてみて仕事の
“感触”に触れることができたのは、大きな収穫だったのではないか。

ヒガシヤマ Q&A

1. 春と言えば…
2. 花と団子、あなたはどっち？

今号から始まったこのコーナー、ヒガシガシを支えている人や紙面に登場する人たちに季節にまつわる質問をして、みなさんにお届けします！

1. ひだまり。
2. 団子！先日食べた嵐山のお団子にキュンときたからです。
(京都ロマンポップ制作：浅田さん)

- 1.さくら…桜ですね。
- 2.だんご。だんごの方が美味しい…食べられるから！
(劇団イッパイアンテナ：野口さん)

1. 春と言えば出会いを思い浮かべます。
2. 団子ですね。お花見で食べて、寝て、食べて、寝てを繰り返したいです。
(表紙担当：ウダガワさん)

1. ワクワク。色々なことが始まる季節なので、春になるとつい心がはずみます。
2. 団子です(笑) おいしいものに敵うものはなかなかありません(^^;) でもお花も好きなので… 桜餅なんかが最高ですね！
(劇団ルーキープレイ：四方さん)

1. 桜です(キッパリ)。
2. 団子です(キッパリ)。
(上品芸術演劇団：押谷さん、脇野さん)

1. キラキラした感じが好きです。
2. 花です。鴨川とか桜がきれいですよね。
(六花：ムラカミさん)

1. 新しい挑戦の季節！
2. 花です。みんなでワイワイ花見するのが楽しいから。
(コーナー担当：村井)